

『あ!出て来た』 4歳児 6月 伏見こども園

エピソード

Aちゃんが透明ホースを円筒のネットにくぐらせ、コースをつくって遊んでいました。ペットボトルに水を吸んで来て流すと水がホースの中をゆっくりと進んで行き「流れて行った」と、保育者に伝えました。Aちゃんは繰り返し水を吸んで来ては流すと、少しずつ押し出されて進む水の行方を追いかけて目で確かめます。Aちゃん「ここまで来た」、保育者「さっきより進んだね」と一緒に水の位置を確かめました。その様子見てBくんやCちゃんもやって来て一緒にお椀で水を流します。繰り返し水を流すうちにどんどん水が進み、ホースの出口から流れ出しました。Aちゃん「あ!出て来た」と驚き、Bくんも「ほんまや!出て来た」と、嬉しそうにしていました。

さらに、ホースの入口を少し持ち上げたり、何度も何度も水を流したりするとホースの中に水が溜まり、今度はホースの入口から水が溢れ出しました。Aちゃん「わあ!」、Bくん「こっから出て来たね」、保育者「びっくりしたね」と笑い合いました。

子どもの育ちや学び

ここまで来た!
(水の動きに気付く・確かめる)

あ!出て来た
(水の動きに気付く・驚き・確かめる)

ほんまや!出て来た
(驚き・確かめる)



- ・ホースや円筒のネットなど、身近にある用具を使って水を流すコースをつくる。
- ・水の流れを目で追ったり、確かめたりして感じたことを言葉で伝える。
- ・流れる、押し出される、溜まる、溢れ出るなどの水の動きに気付く。

保育者の思い

- ・水に触れて遊んでほしいと思い、ホースや円筒ネット、風呂の椅子を遊びの場に用意したり、タライに水を溜めたりしておきました。また、普段はビールケースの上にホースのせたり、通したりして高さを出して遊んでいましたが、この日は他の遊びにビールケースを使っていたため、子どもと一緒に考え、プラスチックの椅子を使って高さをつけ、遊ぶことにしました。
- ・水を流しては行方を目で追ったり、確かめたりして遊ぶ姿がありました。保育者も一緒に水の動きやどこまで水が進んだか確かめることで、子どもの気付きを受けとめられるようにしました。
- ・ホースの出口から水が出るだろうと思いながら水を流したり、入口から水が溢れ出すといった思いもよらない出来事に驚いたりする姿を大切にしたいと思い、保育者も子ども達と笑い合いました。

家庭だったら・・・

水を使って遊ぶことが増えてきました。遊びの中で水の冷たさや気持ち良さを味わったり、水の動きの面白さを感じたりしながら遊んでいます。お家の方も一緒に遊びながら、子どもの感じたことや気付きに共感してみてくださいね。